



# ① be動詞・一般動詞(1)

## チェック — できるかどうか確認しよう

1 次の文の \_\_\_\_\_ に適する語を入れて、日本語に合う英文にきなさい。

- (1) 私は伊藤由美です。

⇒ポイント1

\_\_\_\_\_ Ito Yumi.

- (2) あなたは沖縄出身です。

⇒ポイント1

\_\_\_\_\_ from Okinawa.

- (3) 私の姉は今、公園にいます。

⇒ポイント1

My sister \_\_\_\_\_ the park now.

2 次の英文の( )内から適する語を選んで、日本語に合う英文にきなさい。

- (1) 私は音楽が大好きです。

⇒ポイント2

I (am / like / want) music very much.

- (2) 私は毎週土曜日に野球をします。

⇒ポイント2

I (am / have / play) baseball every Saturday.

- (3) あなたはとても速く泳ぎますね!

⇒ポイント2

You (are / run / swim) very fast!

## ! ポイント

### — 読んで思い出そう

#### 1 be 動詞

be 動詞の現在形は **am, are, is** の3つで、「(…)です」「(…)にいます[あります]」という意味を表します。主語が I(私) のときは **am** を使い、**you**(あなた) のときは **are** を使います。主語が I と **you** 以外の 1 人[1つ](3 人称単数) のときは **is** を使います。

**I am** a junior high school student. (私は中学生です。)

**You are** from Canada, right? (あなたはカナダ出身ですよ?)

**Tom is** in the music room now. **He is** very kind. (トムは今、音楽室にいます。彼はとても親切です。)

**That is** a library. **It is** very old. (あれは図書館です。それはとても古いです。)

**English is** an important subject. (英語は大切な教科です。)

▶ I am など を 1 語(短縮形) で表すことができます。

例 I am → **I'm** / You are → **You're** / He is → **He's** / She is → **She's** / That is → **That's** / It is → **It's** など。

#### 2 一般動詞

be 動詞以外のすべての動詞を一般動詞といい、「~する」という動作や「~している」という状態を表します。また、「…を」を表す語(目的語)が続く動詞と、そうでない動詞があります。

I **run** every morning. (私は毎朝走ります。)[動作]

I **live** in a big city. (私は大都市に住んでいます。)[状態]

You **play** soccer well. (あなたはじょうずにサッカーをします。)[動作]

\* soccer は目的語

You **have** a cool bike! (あなたはカッコいい自転車を持っていますね!)[状態]

\* a cool bike は目的語

▶ 動作と状態の両方を表す動詞も少しあります。例 have 「…を持っている」(状態), 「…を食べる」(動作)

**トレーニング** 》 — 全部できるまでやろう

1 次の文の \_\_\_\_\_ に適する語を入れ、日本語に合う英文にしてください。

- (1) ほくは大谷豊です。  
 \_\_\_\_\_ Otani Yutaka.
- (2) あなたは親切ですね、ナンシー！  
 \_\_\_\_\_ kind, Nancy!
- (3) 彼は今、コンピューター室にいます。  
 \_\_\_\_\_ in the computer room now.
- (4) これはコーヒーについての本です。  
 \_\_\_\_\_ a book about coffee.

2 次の文の \_\_\_\_\_ に下から適する語を選んで入れ、日本語に合う英文にしてください。

- (1) 私は毎日ギターを弾きます。  
 I \_\_\_\_\_ the guitar every day.
- (2) あなたは美しいバッグを持っていますね！  
 You \_\_\_\_\_ a beautiful bag!
- (3) ほくは7時に起きます。  
 I \_\_\_\_\_ up at seven.  
 [get / go / have / like / live / play]

3 次の英文の ( ) 内の語(句)を並べかえて、日本語に合う英文にしてください。ただし、文のはじめにくる語も小文字になっています。

- (1) あれはすごく高い木ですね！  
 (a / is / that) very tall tree!  
 \_\_\_\_\_ very tall tree!
- (2) 私は熊本出身です。  
 (from / I'm / Kumamoto).  
 \_\_\_\_\_.
- (3) あなたにはお兄さんが1人と妹が1人います。  
 (a brother / have / you) and a sister.  
 \_\_\_\_\_ and a sister.

4 次の文の \_\_\_\_\_ に適する語を入れて、2つの英文がほぼ同じ意味を表すようにしてください。

- (1) I am Masao. (私は正雄です。)  
 My name \_\_\_\_\_ Masao.
- (2) You are a good singer. (あなたは歌のじょうずな人です。)  
 You \_\_\_\_\_ well. \* well 「じょうずに」

**ヒント**

1 このような問題では空所の数に注意しましょう。たとえば(1)の空所が1つなら、短縮形の I'm を入れます。

I am → I'm  
 You are → You're  
 He is → He's  
 She is → She's

2 (1) 「(楽器)を演奏する」というときは、楽器名の前に the をつけます。play はほかに、「(スポーツ)をする」の意味でも使います。play tennis 「テニスをする」  
 (3) 「起きる」は2語で表します。

3 (1) 「あれは…です」は That is ... といいます。  
 (2) 「…出身です」は from を使って表します。  
 (3) 「…がいます」は「…を持っています」と考えます。英語では「兄」も「弟」も brother, 「姉」も「妹」も sister で表します。

4 (1) 「私の名前は正雄です。」という文にします。  
 (2) a good singer は「歌のじょうずな人」という意味です。これを「じょうずに歌います」と言いかえます。

